

神奈川区民祭で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 縣1陸尉）は、10月12日（日）、反町公園（横浜市神奈川区）で開催された「神奈川区民祭」に広報ブースを開設し、自衛隊をPRした。

ブースでは、陸・海・空自衛隊の装備品の写真パネルと南極の氷を展示し、ちびっ子制服の試着と「はまちゃん」（神奈川地本のマスコットキャラクター）との写真撮影会を行ったところ、大賑わいを見せていた。特に、「はまちゃん」との写真撮影会は大盛況で長蛇の列ができていた。

横浜出張所は、「今後も、地域と密接に連携し、自衛隊に対する理解を深めていただき募集成果に繋がってきたい」とつづける。

つるみ臨海フェスティバルで自衛隊をPR



広報ブースの様子

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 縣1陸尉）は、10月18日（土）、入船公園（横浜市鶴見区弁天町）において開催された、つるみ臨海フェスティバルに広報ブースを出展し、自衛隊の活動をPRした。

ブースでは、「砕氷艦しらせ」の南極観測支援活動に関する写真展示を中心に、自衛隊の諸活動を多くの市民の方々にPRした。特に、横浜市鶴見区にある造船所（ジャパンマリユニナイテッド鶴見工場）は、前身の日本鋼管時代から、「ふじ」「初代しらせ」など歴代の砕氷艦の建造に携わっており、鶴見区と南極は非常に縁が深いことを説明されると、多くの来場者から驚きの声が上がっていた。

横浜出張所は、「今後も、地域の祭りなど様々な機会を通じて、多くの地域住民に自衛隊の活動等を理解して頂き、防衛・募集基盤の拡充を図る」としている。

UH-1 体験搭乗を満喫

～災害派遣活動に感謝！これからも自衛隊を応援したい！～



安全教育



離陸したヘリ

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充1海佐）は、10月18日（土）、陸上自衛隊木更津駐屯地において募集対象者や援護・予備自協力者等40名に対し、UH-1（東方ヘリ隊）の体験搭乗を実施した。

木更津駐屯地に到着すると、つい先日、御嶽山の災害派遣から戻ったばかりの隊員による軽妙で分かりやすい安全教育が行われた。その後、各フライト毎にヘリをバックに記念撮影を行い、市原市の上空へ飛び立っていった。また、待ち時間に資料館やV-107（バトル）を見学し、陸上自衛隊の魅力をつつりと満喫していた。参加者から、「頻繁に、ニュースなどで自衛隊の災害派遣活動を拝見しています。御嶽山の災害派遣活動など、過酷な状況下で活動している姿を見て、とても感謝しています。これからも自衛隊を応援していきます」と力強いエールを頂いた。

神奈川地本は、「今後も、印象に残る体験搭乗を企画していきたい」としている。



V-107（バトル見学）



記念撮影